Vol 33 No. 9523 Thursday September 1 1938 TAIRIKU NIPPO 昭和十三年九月一日（木曜日）第九千五百廿三號

大陸日報
TAIRIKU NIPPO
(THE CONTINENTAL DAILY NEWS)
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
213 & 215 CORDOVA ST. E.
VANCOUVER, B. C.
本紙定價（前金）一ヶ月七拾五仙 六ヶ月四弗 壹年八弗貳拾五仙
廣告料 壹行壹ヶ月 大広告 壹吋 貳拾五仙
電話 バンクーバー二五五三

壯絶！連日の爆撃行……
海の荒鷲中南支に暴れ廻る
大成功收めて全機無事歸還

【上海一日】（略）海軍航空隊は引續き昨卅一日午前午後に亘り陸軍及び江上艦船の作戰に協力其の大部隊を以て我が地上部隊の前線の敵陣地、密集部落及び艦船部落の大部隊に連續攻撃を加へ、敵を新たなる敵前線部隊に對し巨大なる打撃を與へ我が軍の進出を容易ならしめる外他の一部隊は長江沿岸に飛び重要施設その他の敵を打擊、——前日に引續き昨卅一日海軍航空隊は南京、蕪湖、安慶方面——中支其の他に於ける猛烈なる防禦陣地に火を噴しつゝ銀瓶攻撃部隊は市街地、軍事施設及び長殿地区を徹底的に破壊し、又其の他の重要基地として我が陸軍及び江上艦船の作戰に協力其の大部隊を以て我が地上部隊の前線の敵陣地、密集部落及び艦船部落の大部隊に連續攻撃を加へ、敵を新たなる敵前線部隊に對し巨大なる打擊

（實話）小說以上の話

幽靈とドライブ

丁度初七日の夜

（二）

X・Y・Z生

始めのうちは左手氣でも出すまいと思つてゐたが、時々見るバックミラーに映る娘の樣子が、どうも變だ、年はやつと廿歳を越したばかりの年頃なのに顏の色は蒼白く、それに口紅だけが不自然に赤く光つてゐて少し怪しい氣味が強く感じたので、一度ミラーに目を移して、娘の顏を覗き込んだ時、娘が確に突伏の一點を見つめて凝つとしてゐる、少々氣味が惡くなつたので「電大病院へ誰か入院でもせられたのですか」とたずねたら、娘は一度ハッと顏を擡げて、「いゝ……」とかすかに答へたきり其の娘は默つて、どこか遠を見つめてゐる、外は暗く、時々雨が三四滴降るのが見ゆる、と自分で氣が付かない内にハンドルを確かり握つて物凄くスピードが出てゐた、僕は無理に何氣ない風を裝つて、自身平靜を取戻そうと思ひ、前方はかり眺んでゐた

それも後で判つた事だが、僕が夢中で飛び込んだ時（事件現場は昨年の秋）とか云つたのが此の家の主人で、元中納言の重役だつたが、ある事情で會社を退き現在は殘つた財産で遊んでゐるとの事で、其の主人の前に上ると、丁度一週間程前に可愛い一人娘が腹膜を病んで京都の帝大病院で死亡したそうだが、此の娘が父大納言思ひで死ぬ前まで親の事を心配してゐたそうで、其の日が丁度初七日なので、私に再び來て來れたのでせうと其の父親は云ふのだ

×　×

そして尚「只今娘はあなたの車を確に踏つて來て呉れました」と云ひつゝ、化粧に餘念なく、眼のふちを特別ていねいにパフをたいてゐる。

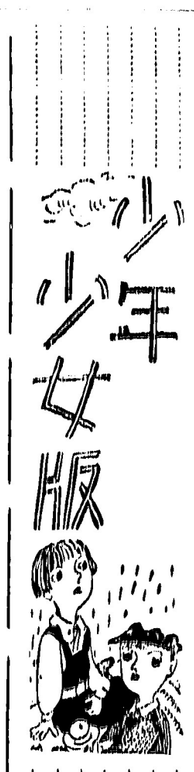
時々なめ息をもらし、大きく力で息をしてゐる、僕ら二人は本は一一出して貰つて始めた位だつた。

ーもいい氣者で、時々逢瀬を樂しみに、何を思つてか海軍中尉のおすみの面倒を見てやつてゐる。

おすみの方では、何の男も惜んな自分の目先きに乘せられてゐるのがおかしい位に入れ込んだ大騷さである。

おすみの本心は町田が一等好きであつた、町田もおすみが此の上もなく好きであつたけれども、先輩の大さんが何時も邪魔してゐて、何日ニヤリ〜して酒をのんでゐて、おすみとは恰も夫婦氣取りでゐるので、町田は男爵の樣に小使や旅費をもらつては、時々出かけて來るのであつた。

たまに來て見れば、前記の樣な事情で、町田はもう我慢がならず、ついむか〜つとして腹を立てゝ、「さう高ぶつてゐるなら



事變で有名になつた支那の『鐵道』の話

面積は日本の十數倍もあるが其の長さは日本の半分もない

▲支那の鐵道は、國有と民有に大別され、日本には無のない一かわりあります。

▲路警　といふ警察制度が重要さを分りました。又、輸送の人々の活躍の中心に躍り上りました。

▲現在　一萬二千二百五十七キロの鐵道が敷設されて居ます。これを日本の鐵道に比較して見ると、約半分位の延長し、日本には無のない一かわりあります。

▲路警　支那の鐵道は、國有と民有に大別され、日本には無のない一かわりあります。

▲路警　といふ警察制度が重要さを分りました。又、輸送の人々の活躍の中心に躍り上りました。

▲支那　一の鐵道は、國有と民有に大別され、日本には無のない一かわりあります。

▲現在　一萬二千二百五十七キロの鐵道が敷設されて居ます。これを日本の鐵道に比較して見ると、約半分位の延長し、日本には無のない一かわりあります。

▲路警　支那の鐵道は、國有と民有に大別され、日本には無のない一かわりあります。

▲路警　といふ警察制度が重要さを分りました。又、輸送の人々の活躍の中心に躍り上りました。

▲支那　一の鐵道は、國有と民有に大別され、日本には無のない一かわりあります。

▲現在　一萬二千二百五十七キロの鐵道が敷設されて居ます。これを日本の鐵道に比較して見ると、約半分位の延長し、日本には無のない一かわりあります。

▲路警　支那の鐵道は、國有と民有に大別され、日本には無のない一かわりあります。

▲路警　といふ警察制度が重要さを分りました。又、輸送の人々の活躍の中心に躍り上りました。

▲支那　一の鐵道は、國有と民有に大別され、日本には無のない一かわりあります。

▲現在　一萬二千二百五十七キロの鐵道が敷設されて居ます。これを日本の鐵道に比較して見ると、約半分位の延長し、日本には無のない一かわりあります。

殆んどみな

日本軍が占領運轉

キロ餘の鐵道でソビエットとの重要交通路ですが、徐州陥落と共に支那側は主要な區間を放棄

一萬六千人に上り、この經費を年には八十人もゐましたが、昭和九年には五十九人に減じ、事變前には十二人を襲すのみとなりました。

◇京漢鐵道

北京から漢口までの一、二三キロを本線とし約一二七キロの支線を有します、現在この鐵道は皇軍が占領してゐます

◇北寧鐵道

北京から滿支國境山海關までの四三三キロと支線三九キロの鐵道で滿洲國からの重要な交通路ですが、事變突發と共に皇軍が占領し現在は奉天、北京間に急行列車を運轉してゐます

◇津浦鐵道

天津、浦口間の一〇〇〇九キロと支線七一キロから成り、徐州の陥落と共に全線を皇軍が占領

◇京綏鐵道

北京の近郊豊臺から包頭鎮までの約八一六キロと約五七キロの支線から成り皇軍が占領しました

たがこの鐵道は平津上からも大切な附近の炭田の開發のためにも重要な鐵道です

◇隴海鐵道

連雲から蘭州に至る約二三五八キロ餘の鐵道でソビエットとの重要交通路ですが、徐州陥落と共に支那側は主要な區間を放棄

◇粵漢鐵道

南京と上海を結ぶ三一一キロと一六キロの支線から成り南京政府にとつて生命線でしたが今日皇軍の管理下にあり海南線と呼んでゐます

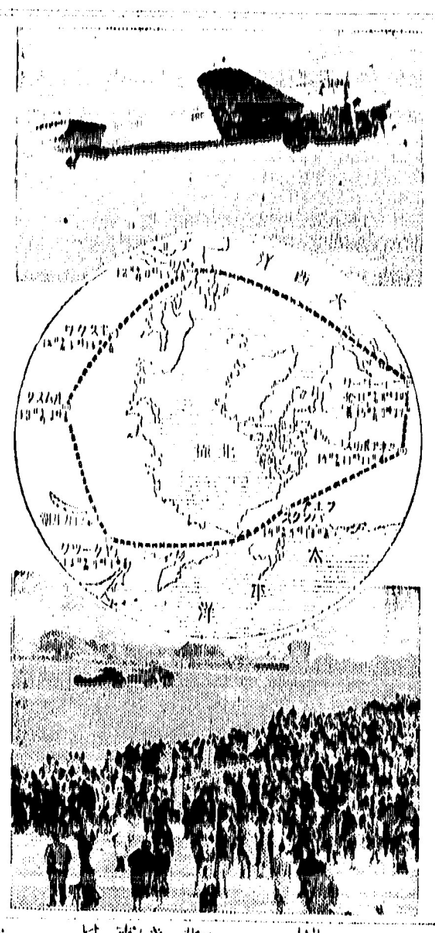
◇粵漢鐵道

漢口の對岸武昌と廣東省廣州を結ぶ延長一〇九〇キロの幹線と支線五四キロを有する支那の重要な鐵道です

進撃する皇軍は續々と鐵道も占領してゐます、支那軍は逃げる時線路、鐵橋を破壞して行くので皇軍將士と鐵道派遣員は破壞箇所を修理して列車を運轉してゐますが、その沿線を警戒することも大きな苦勞です、しかし鐵道を我軍の手にをさめて戰ひは一層有利となり、北京に南京に成立した新政府と協力して、經濟開發を行ふ時この支那の鐵道の重要さは一層わが國民に認識される事でせう

三日餘りで世界一周

ニユヨークのヒユーズ氏が



ヘツバーン嬢とヒユーズ氏

世界一周飛行をして歸つた最初の冒險飛行をして歸つた時よりも、もつと賑やかな歡迎を受けました

何しろ今までの世界一週飛行の最短記録破りの速さでしたものですから、ヒユーズ氏の人氣は大へんなもので、それに今年三十二才で未だ獨身ですから、色々な噂が飛び映畫女優（アクトレス）カサリン・ヘツバーンさんとエンゲイジしたとの噂までありました

▽……

寫眞（上）ヒユーズ機の飛んでゐるところ（中）世界一周の道を示す地圖（下）ヒユーズ機が着いたニユヨークのノロイドベネット飛行場

背さん知つてゐるように、去る七月十日の日曜日の午後ニユヨークを飛び出し世界一周の途に就いたヒユーズ氏は、それから三日餘りの後の十四日ニユヨークに歸りました

ニユヨークに歸りましたヒユーズ氏は、ニユヨーク市民ニユヨーク大佐が大西洋

ヒユーズ氏がニユヨークに歸つた時は大歡迎で、前人なみ外れの速さで未だ獨身ですから、色々な噂が飛び映畫女優（アクトレス）カサリン・ヘツバーンさんとエンゲイジしたとの噂までありました

▽……

寫眞（上）ヒユーズ機の飛んでゐるところ（中）世界一周の道を示す地圖（下）ヒユーズ機が着いたニユヨークのノロイドベネット飛行場

カイゼル帝の令孫

日本を訪問

お嫁さんと一緒に

寫眞は日本を訪問されたお二人

前獨逸皇帝のお孫さんルイス・フエルヂナンド公と前ロシアのキール大公の娘キーラ・キリロヴナ姫の新夫妻はハニームーンに日本を訪問しました

此お二人は今年の春結婚されたのです、フエルヂナンド公はドイツ空軍の豫備航空中尉で航空八百時間の記錄を持つて居られ旅客輸送飛行士の免狀も持つて居られます、お二人とも今年三十才で英語が大變上手だとの事です

ウインザー公の御近狀

キング・エドワード八世陛下がシンプソン夫人と結婚される爲め英國皇帝のお位をお退きになり愈結婚されたのは去年の六月三日でした、その後陛下はウインザー公と名のられフランスでお暮しになつてゐるといはれます、今年の六月三日は結婚記念日でありましたのでウインザー公ご夫妻は、お仲のよいお友達をお招きになり、フランスの南部リビエラ海岸のホテルで小さい祝宴をお張りになりました

寫眞は御結婚滿一年の六月三日フランス、アンチーブでお寫しになつたウインザー公御夫妻

みんな止れ！おれ一人で行く

部下思ひの鬼隊長

◇……皇軍が敵の堅城阜寧を攻略してゐた五月二日のことです一萬餘の敵は少數の我軍を阜寧南方から反擊しました。味方は危地に陥つたのです。「敵を打破るのだ」と、決心した福島尊次准尉（東京麻布區狸穴町出身）は正午頃三十名の決死隊員と共に自ら肉彈となつて前進して行つたのでした。

◇ダ　ダ、ダーと、射ち出す敵の機關砲、ビユーン、ビユーンと飛來する小銃彈、全く敵彈は雨、霰のやうに飛來して來ます。決死隊員はその彈丸の眞只中を物ともせず、麥畑をはひながらぢり〳〵と前進してゆきました。この時、福島准尉が心に誓つたのは「一人の部下も傷つけたくない」といふ、あたたかい思ひやりでした。

◇……敵　彈が落下して麥畑の各所からバツ！　バツ！と土煙をあげます。准尉は突如右手を上げて「皆止まれ！　來てはならぬこれから先はおれ一人で行く！」と、叫びました。「おれ一人では危險です連れて行つて下さい」と部下の兵士は口々に答へました。「いや！　大丈夫だ、おれに任せろ、おれが戰死したら、仇を討つて呉れ、頼んだぞ！」と、云ふや、軍刀をスラリと抜き放つて、敵彈を潜つてまつしぐらに突進して行つたのでした。その鬼神のやうな勇姿、その壯烈な氣勢に呑まれて敵は慌てて逃げ去つてゆきます。

◇……意　氣地のない奴だ」と笑ひながら准尉は部落に突入し一軒の家に火を放ちました。猛火はたちまち日本男子の意氣のやうに赤く〳〵燃え上るのです。そこに決死隊員も全部駆けつけました。見ると、逃げた敵は前方百メートルのクリークを前に土まんぢうの第二陣地から抵抗をつゞけてゐます。「小癪な奴どもだ、追つ拂つて呉れるぞ」と、准尉は今度は擲彈筒を提げて前進しました。敵はあわてゝ射ち出すのですが、幸ひに命中しません。

◇……勇　敢にも敵前に進む准尉は擲彈を投げつけました

バツ！　バツ！　と破裂して敵の幾人かが傷ついたので殘る敵は再び逃げ出したのです。敵の一角は崩れ始めました、ぱつと見ると部下の上等兵が傷つて倒れてゐるので「おい！　しつかりしろ！」と叫びつつ駆けよつた利那飛來した敵彈は准尉の右腕に貫通しました。「やり居つたぞ！」と、准尉は負傷の痛みも、溢れる血も忘れて部下を救ひ、指揮刀を左手に持ちかへて前進した時、心はやつぱり力がつきて軍刀を取落すやそつと倒れたのでした。

◇……准　尉の雄々しい突擊と味方の將士の活躍で敵は總くづれとなり、遂に、感激の日章旗は飜りました。挺身部下の人柱となつた准尉は病院におくられて手當を受け、その後、内地に還送されましたが、上海碼頭に見送つた舊部下の人々は「勇ましい人だつたが、俺達にはやさしい隊長だつたな。一日も早く全快して下さい」と泣いて別れを惜しみ出てゆく病院船をいつまでも見送るのでした。

いざ鎌倉

日本の格言

鎌倉に幕府のあつた頃、北條時頼が鎌倉を出で諸國を廻る途中、上野佐野のあたりで大雪に道を失ひ、源左衛門常世の家に一夜の宿を借りました。

この旅僧がよもや鎌倉の執權時頼と知る由もない常世、うらぶれた渡世に粟飯をすゝめ、秘藏の鉢の木を惜げもなく焚いてもてなし

「いざ鎌倉に一大事起らば、第一番に馳せ參ずる心底……」と覺悟のほどを語りました

時頼が鎌倉に歸つてから、諸國の軍勢を召集した時、痩馬に乘つて一番に馳せつけたのは、言に違はず佐野源左衛門常世でありました。

この話は謡曲「鉢の木」で有名となつてゐますし、「いざ鎌倉」の言葉も、いつしか平時に於ける國民の心構へを促す金言となりました

子条邊浦・夫將水清・男春中田・郎一井菅
二耕田中・一弘橋島・夫都佳澤金
トスヤキータスルーオ他　子重八川歌
昇島霧・男久藤伊・晴忠野中・晃平松
演出別特　アビンロコ手歌氣人

主演　郎三清津河
子みふ路山

郎一順島青・影撮　一秋本畑・本脚
二健口溝…出演

全國風靡の
＝熱血愛國歌國の獨占映畫＝
雜誌富士所載
作原雄武藤加
我が父の記『よりの映畫化』

この一篇こそは皆様に泣く泣く涙の名作！！現代の若き男女の心理を深刻に描寫し更に涙ぐましい母性愛の貴さを強調した感銘と熱情の極致篇

露營の歌々詞

世なつ心

イ、勝つて來るぞと勇ましく誓つて故郷を出たからは手柄立てずに死なりよか
ロ、進軍ラッパさくたびにまぶたに浮かぶ旗の波
ハ、土も草木も火と燃える果てなき曠野ふみわけて
ニ、進む日の丸鐵かぶと馬のたてがみなでながらあすの命を誰か知る

演共　子条邊浦・美登川古・介之壯友大・郎二謙村植・弘内大
子筆中田・美由野高・光　内山大船より・一精藤加・夫達田黒

最新事變ニユース

當る九月三日（土）午後七時△九月五日（月）午後一時
午後七時二回（但し晝は小供デー十五仙）
日本人ホールにて開演△入場料　大人九十仙　小人廿五仙

鳴石キ子マ
後援昭和倶樂部

當る九月四日午後六時　新西院佛教會館にて開演
主催　新西院佛教會

驚異的新タイヤ現る

スキツドの危險が半減される
ドライ道路は勿論だが
ウエツト・ロードでは特に安全
而も値段が違はないとすれば！
是非一度御來店御覽下さい
日本オートサプライ
晩市ゴーア街及アレキサンダー街角

今日の厄日・二百十日
日本を襲つた大暴風
東京横濱を中心に關東全州を吹く
死者行四名、浸水家屋多數

東京一日——二百十日の厄日を前に控へて日本列島を襲つた颱風は昨夜東京に近づいて來た颱風は昨日午後十時半房總半島の南方三十キロの海上に達し更に北に向つて進攻一日午前二時過ぎに東京に上陸、中心氣壓七二五ミリ、風速三五メートル餘の勢ひを保ちつゝ更に帝都目指して猛進した

◇

此の夜の三十一日深更から一日夜明けにかけて東京を初め全關東は風となり横濱の最高風速三十一メートルといふ二十年振りの記錄に達し凡ゆる風速を挿つて午前五時過ぎ次第に東に去つた

（過ぎ去つた）此のため帝都を初め關東一帶の被害は極めて甚大で午後一時半過ぎに判明しただけでも帝都の全半壞家屋六百戸、浸水家屋九萬餘戸に達し死傷者も相當數に上る見込である

◇

帝都は八萬五千本中五萬四千本は根こそぎされ又は半倒壞し赤帽一になつて了つたもの八千本といふ大打撃を受けた、更に交通網は一時絶絶し國鐵のダイヤは東海道線を初め滅茶々々になつた、横濱港は繫留中の船舶の被害も甚大に上る見込みである

◇

一日早曉帝都を襲つた颱風は既報の如く間隔的な風速の割合に實は案外に輕微であつたが被害は流石に數字的には相當の敗に上り調査の進むにつれ判明した所によれば

△街路樹の倒し八萬本以外

△工東方面其の他低地の浸水家屋敗床上二萬一千戸（其の後全浸水家屋は九萬戸に上つた模様）

△全壞家屋六百戸

△死傷者は死者三十四名、負傷者十二名に過ぎず

◇

一日早曉帝都を襲つた颱風は既報の如く間隔的な風速の割合に實は案外に輕微であつたが被害は流石に數字的には相當の敗に上り調査の進むにつれ判明した所によれば

△街路樹の倒し八萬本以外

△工東方面其の他低地の浸水家屋敗床上二萬一千戸（其の後全浸水家屋は九萬戸に上つた模様）

△全壞家屋六百戸

△死傷者は死者三十四名、負傷者十二名に過ぎず

◇

の日を放たせてゐる帝都を中心とする國鐵各線、省電、各私鐵も三十一日夜半來襲に陥り電燈電話も所々不通となつたが幸ひ颱風通過が深夜であつたため一日早朝には復旧し私鐵は午前七時頃には殆んど全部平常のダイヤで運轉してゐた

◇

打續く敗戰に士氣沮喪せる中央及び雜軍を指揮目下武漢防衛に必死となつて奮闘の進撃を喰ひとめるべく大軍となつてゐる將介石の近況については僅に寸時窺見せる外人記者の印象を傳へるに過ぎず確實な消息は部下軍隊に對してすら所在を極力秘してゐるため判明するに至つてゐなかつたが最近將政權と密接な關係あつた某外人に中央軍に要職を占むる者より達した文面によると

將介石が一見元氣らしく見ゐるも敗戰と激務のため心身は極度に疲勞困憊し憂鬱に沈みこんだり時として些細なことに激怒すると云つたやうに強度の神經衰弱症狀が看取され側近の者も憂慮した結果主治醫の勧告に從ひ少量の阿片吸飲によつて僅に心勞の快復に資してゐると云ふ實情でその中央軍要人も將がこの際充分の休養を得られなければ近き將來生命の危險が憂慮されてゐる旨傳んでゐる山である

風速七十餘哩
埼玉縣を過ぎ
日本海へ

東京一日——本日早曉關東地方を襲つた颱風は午前二時四十五分埼玉の南方を通過し三時頃東京の西方八王子、立川方面を通過四時埼玉縣志木附近を、六時頃谷田川近を掠めて日本海方面に去つた

大正六年以來の強颱風と云はれるが帝都では其の割合に被害の程度は大きくなかつた、但し樹木の根こそぎ倒れた程度の被害が最も多く殊に街路樹、傍り住居の無たない街路樹の根倒しが目立ち颱風一過後一日朝の帝都の街上には之等倒壞樹木が到る處に山り帝都人心を悩ませた

敗戰つゞきで
蔣は神經衰弱
阿片で支へる

だ！」開發の餘地がうんとある、居留民は南洋の炎天下で眞黒になつて働いてゐるが、これから見ると內地は極樂さ南洋は探しさへすれば寶島はかりだ」と語つた

南洋は寶島
百武大將談

東京——八月十七日南洋サイパンから横濱丸で百武海軍大將や東京市內各小學校長からなる南洋學術視察團一行十二名らが賑やかに歸朝した、百武大將は滿武關官を帶同サイパン、パラオ、トラックなど各島を「海の行脚」をやつて來たが、同大將は

「その島も面積は小さいがまなものは今迄殆んど見當らぬやうだ。

△

外國では十七世紀以後戰爭美術が相當現はれて、不朽の傑作として今日尙輝いてゐるものが大分あるやうだ。先づその雄たるものとして誰でも知つてゐるのは佛國のリュードの彫刻「進軍」であらう。作者は一八七五年に死んだ人であるが、その思想に於てナポレオン崇拜のロマンチスズムであつたと云はれてゐるだけに、その作品も戰爭を主題として傑作を生んだのであらう。この「進軍」は有名な巴里の凱旋門の右側にある裝飾彫刻で、國民が各〳〵劍を把つて國難に赴くところを表現したものだが、歐洲大戰の當時感激性の強い佛國民はこの作品に依つて士氣を鼓舞せられたと云はれてゐる程に有名なものだ。

△

十七世紀頃スペインの一領土であつた當時のフランダーに現はれた天才畫家ルーベンスの描いた「騎兵戰」は戰爭を主題とした不朽の傑作として今日ではドイツのミューヘン・ピナコテーク畫堂に藏せられてゐる。この作品はテレサの勝利を描いたもので、橋上で奮戰してゐる騎兵の激昂が畫面に躍動してゐると云はれてゐる。

△

メソニエの「千八百十四年」とヴエルネーの「ワグラムの戰ひ」は共にナポレオンを描いたもので、「千八百十四年」は歷史畫として知られ、ナポレオンが幕僚と共にソアツソンより歸陣するところが描いてある。この繪の有名なのは、奈翁の容貌から衣服、馬具に至るまで史實的に現はした寫實畫である事だ。「ワグラムの戰ひ」はナポレオンが丘上に馬を進めて一軍を統帥してゐる雄姿を描いて、その豪壯な構圖は戰爭美術に相應しく、最も勝れたものである。

△

以上の如く英雄讃美的でなく軍隊を集團体的に觀て客觀主義で描いた戰爭美術にフランスのアルフレッド・ロルの「進軍」がある。この作者は「青ブラウス」派に屬してゐただけに一人の英雄も描かず、幾百の下級兵が道なき戰野を進擊して行く有樣が描いてある。たゞ繪の構圖の都合らしく一人だけ馬に乘つた將士が背中を見せてゐるが、併しこれが少しも英雄らしくない。

〔山本倫也〕

戰爭美術考

昨日の本紙東京特電によると本日から三日にかけて青龍社、二科、第三部會、院展といふ順序で、美術展覽會が一齊に蓋を開けるといふ事であるが、今年は事變の反映で戰爭を取扱つた作品が幅を利かしてゐると報じてゐる。日本は古來尙武の國であるだけに、文學の方面では太平記を初め戰爭を取扱つて勝れたものが多いが、美術の方面では戰爭から取材して非常に有名なものは今迄殆んど見當らぬやうだ。

院展の變り種
二老人が入選
その一人はビラ屋

東京一日——院展入選者中輝く初入選の二老人がある、一人は（享運）金子關太郎さん（五九）で京橋區西八丁堀に住む生粹の江戸兒、明和年間から代々受繼いで「ビラ屋」の總家、ビラ屋といふのは圖案なら何でも來いの商賣で關太郎さんは若い頃から家業を繼いで「壽」と書いた開店祝のビラ等を描いたが、六年程前保存される樣な藝術的なビラを描いて見たいと發心して小林古徑畫伯について本格的な繪の勉强を始め今度出品した二山半の屏風（麻）紙榮冠を獲得したもの

◇

もう一人は（南鳳）時田嘉一郎さん（五一）で「軍鷄と若雛」を描いて入選した、十六歳の時京都の菊池法文といふ薄命の畫家についた外之といふ師匠もなく諸國を轉々、今から四年程前に本郷區森川町の現住所に落付いたが茲十餘年軍鷄を十羽近くも飼つてコツ〳〵と軍鷄の繪ばかり研究してゐたもの、絲瓜庵の號を持つてゐる俳人である

晚香坡野球戰

晚香坡シニア・リーグ決勝第六回は昨夜行はれたがユーデエルがエーキューを六對〇で破り結局四勝二敗でユーデエルが本年度選手權を獲得した、次にノースウエスト・リーグ優勝團がブレマートンと明日から爭覇戰を開始する

野田爲雄伍長
九月五日村葬

山西省山岳地帶で共產軍討伐の華と散つた野田爲雄君の遺骨は八月末郷里へ無言の凱旋をしたが一昨日目下郷里和歌山に歸つてゐる野田夫妻から吉野へ「九月五日爲雄の村葬をする」といふ電報があつた

橋附近で倒壞三百戸、群馬縣では崖崩れで死者十一名

アメリカで
日本部門新設

米國各地パイ・スクールの教諭數千名を集めて毎年開校されるコロラド州クレーリー市の州立カレッヂ・オブ・エヂユケーションの夏期學校ではこの夏の學期末から日本部門を設け、日本關する各種講座を開校、正しい日本に關する知識を全國教育界を通して全米に徹底させることになつた

カナダ
年鑑
發行さる

オタワ政府で發行されてゐるカナダ年鑑一九三八年度版は今回發賣されたが値段は實費で一弗五十仙、發行部數に制限があるので希望者は速にオーダーするを要す、なほ安價版は五十仙で送つてくる、內容は普通版と少しも變つてゐない、同年鑑は何しろ一千二百ページのガッチリした本であるが少くとも最近の正確なカナダの事情乃至諸統計を必要とする者又は知らんとするものは是非一冊備へて置くべきであらう

內容はカナダの地勢等から人文諸產業の統計、政治經濟、教育關係など全般的に亘つてゐる、なほ重要なのは一八七一年から昨年に到る六十七年間のカナダの發展ぶりを統計に示してゐる點である、外に地圖やチャートを三十餘載せてゐる

晚香坡野球戰

晚香坡シニア・リーグ決勝第六回は昨夜行はれたがユーデエル

ハナシの種

◇共進會で賣つてゐるオモチャや安物賞品の殆んど全部は日本製品だ、茲ばかりは日本品ボイコットも御座らぬ

◇日本製で尻尾と頭を振ふ小さい黑犬が賞品に出てゐる、數人の日本人が五仙宛出して只一つの番號を空けてブンマワシに張つた

◇ところがブンマワシの針はたつた一つの空いた番號の所で止まつた——やはり仕掛けがあるのだらうと一人が云つてゐた

◉健康相談　明晚八時より九時半迄日本人健康相談所（東ペンダー街四七四）にて診斷を行ふ

CROWN LIFE

國家非常時の爲に軍備あり
一家非常時の爲めに保險あり

夫婦保險（最も經濟的理想的）
滿期保險（貯蓄と保險を兼備す）
廿ケ年掛保險（掛金安きプロテクション）
終身保險（驚く程最低保險料）
子供保險（ベビーより保險付貯金）
子親保險親に不幸のあつた場合掛金免除
フイフ・インカム・ボンド—最善の利殖法
奉仕的に各種の方法を具備して皆樣の御要求に應じます
クラウン生命保險會社
晚市 ローチャス・ビル八二二
（火災自動車保險事務取扱）
日本人總代理 矢田源一郎
電話 ダグラス五一〇一
自宅 ハイランド三二二七

金、土大安賣
——（九月二日、三日）——
五目ノ素 二錢 三五
源平おでん 一錢 九
パリモリブ・ソーブ五個 二六
トデイ 半斤鑵 一個付 三九
ストーブすみ 一瓶 一六
サラダドレシング（三） 三九
ホンス
プラスボール 一個付
ロースト・ピーナツ三斤 二五
ボストン・ベキド・ビンズ 二斤 二五
良品 廉價の グロセテリヤ
松宮食料品店
パウエル街二〇五 電話シー 三五九七

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シーピーアール、アメリカンライン
▲再渡航證明、移民官手續、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等屬書、加奈陀政府出生屬手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續其他一般代辯
晚香坡市パウエル街二三五
中山義一事務所
電話 ドグラス三九四四
住宅 ハイ二二〇七アール

Manufacturers Life
○御子樣の貯蓄心涵養のため
○御嬢樣の結婚費用意のため
○他日事業の資金に當てるため
○來るべき老境の準備のため
○御家族の生活安定保證のため
當會社は世界卅二ケ國及日本の大都市に支店又は代理店を有します
マニュファクチャラース生命保險
晚市アレキサンダー街三〇二 電話ダグ二八三
代理 信夫保險事務所
日本人唯一の保險士 信夫三郎

大勉強
晚香坡市パウエル街二六八
杉山運送舍 舊天野運送
電話ダグラス三〇五九

夏は特に胃腸病に御注意を！
▲トモサン（一ケ月分）一八五〇 ▲ノルモザン錠一、〇〇
▲養命酒 二、六五 三、五〇 ▲清氣 三、〇〇
△新製各種寫眞機
△ジャンボープリント
△ワタマン万年筆
△文房具小間物類
電話シー四〇八七
文化商會
パウエル街二五〇

新着御案內
御食事の一番すゝむ秋…
御味付には日本一のおいしい
◎ヤマサ醬油（斗樽入）
□本週のスペツシヤル
どうぞ御利用下さいませ
◎手ホーキ 一本 九仙
◎トメト 大鑵 九仙
◎ホーサン 半斤 九仙
◎サモン（ピンク） 二鑵 九仙
◎ベビースープ 一個 九仙
◎ミルク 大鑵 九仙
△一番良い品を
△一番安く賣る
香村商店
パウエル街二六九 電話ドグラス九二

遣船及修繕
日發デーゼルエンヂン總代理
スタンレーパーク遣船所

御料理 吉野

ピアノ教授
經驗は豐富教授は親切
トロント音樂學校

「米は米屋へ」
▲ハクマイ印 百斤入 五、九五
▲マル特印 同 五、四五
東一スチングス街六四九
電話ハイランド八八九九

御結婚式及髮飾ベール無料御披露用
遠近に拘はらず出張いたします
長髮短髮
オイルパーマネントウエーヴ
チエリー美粧院
電話シーモア五八四六アール
キーフアー街二三三
電話ハイランド二五九八エキスマヂール街二二一五
松岡久枝
高橋貴志子

助產
電話ダグラス五二六九アール

徳安を攻略中の我が軍の進撃作戰！

三隊に分れて目下潮の如く南進中

先鋒隊は徳安へ僅か數哩

上海廿一日——支那軍は漢口防衛の最後の砦として武漢防衛の最重要點たる南方地區の壞滅を意味する事であり、今明日中の徳安攻略戰は漢口攻略前期戰中の華となる事と思はれる

大殲滅戰が展開される事となり徳安の陥落は今後の戰局に重大影響を與へるので非常に注目を集めてゐる

更に此の地區に於ける我が軍の絶對的優勢は武漢防衛の最重要點たる南方地區の壞滅を意味する事であり、今明日中の徳安攻略戰は漢口攻略前期戰中の華となる事と思はれる

◇

（一）先づ鄱陽湖岸星子に上陸して此の部隊の徳安攻略に依した我〇〇部隊は東進して廬山西方の地區に集結した敵二十個師は潮の如く南進中いて強力なる敵と激戰敵前に彷徨する鼠となり日にして本二日之が陥落を突破し徳安十哩の地點に迫つてゐる

（二）更に九江を攻略し南下線に沿つて南下中の〇〇部隊も廬山西方地區に於て敵個師と地區にある

（三）第三の九江より瑞昌を南下した〇〇部隊は廬山を突破し徳安へ向け猛進中で既に後徳安街道を南下した〇〇部隊は廬山の西方峠山を突破し徳安へ向け猛進中で既に徳安入口に迫り其陥落は目睫の間にある

◇

（一）廿一日——徳安を目指して廬山西麓の頑敵を蹴散らし南進中の寺垣、藤岡、太田、岡田、人見の各部隊は本日午後三時徳安に見の各部隊は東進して廬山に於て敵二十個師は潮の如く

制服の街

竹田敏彦（12）

木蘭の朝（二）

「いや、明晩も君子と話したそうですよ。村瀬明子の御令嬢だと知つたら、もつと話をもつて、お交際ひしなければといひましてね」

亮一は眉間に皺をよせていつたが、瑞枝はちよつと赧くなつて、

「まあ、そんなの可嫌よ……そんな古めかしい階級意識、大嫌さんらしくないわ」

「はつは、これはまゐりましたね。……しかし僕達、全く服装してゐますよ」

「わら、何を……？」

「さあ、何といひますかね……」

亮一は、ふと口を噤んだが、

「まあ、そんな話は止しませうよ……鶏頭に咲きましたね、生花ですか」

「わら猫いわ、人の質問を、はぐらかしてしまつて」

瑞枝は笑めるやうな眼で睨んだ。

「はつはは、はぐらかしたつもりはありませんが……さうです、あなた方の、見上げた生活態度ですもの いひますかね」

「明日ですわ 私なんか……お姉様はいらいと思ひますけど……」

「全くですね……お父様の御氣分は、如何です？」

「相変らずですわ」

「御用があつたら、御言つてくださいね……」

亮一はいつて、如露を手におき、ふと、トマトの葉に眼いたが、

「健二、ミロナンの水を持つて来い」

家の方へ呼んだ。

瑞枝は枝ぶりのいゝのを選んで、自木蓮の枝を四五本切取ると、葉の間へ挿つて、花瓶に挿しはじめた。

「まあ、よく咲いたわね……」

華麗の土間から、君子が笑みかけた。

「お姉様のやうに、土に生かるかしら」

「だからお稽古になるのよ……」

君子は数へるやうにいつて、ふと淋漠を覚えた。甲斐々々しい襷がけで、眞白な腕を動かせてゐる君子の健氣な姿は、偽なき木蘭の朝（二）

「いや、明晩も君子と話したそうですよ。村瀬明子の御令嬢だと知つたら、もつと話をもつて、お交際ひしなければといひましてね」

亮一は眉間に皺をよせていつたが、瑞枝はちよつと赧くなつて、

「まあ、そんなの可嫌よ……そんな古めかしい階級意識、大嫌さんらしくないわ」

「はつは、これはまゐりましたね。……しかし僕達、全く服装してゐますよ」

「わら、何を……？」

「さあ、何といひますかね……」

亮一は、ふと口を噤んだが、

「まあ、そんな話は止しませうよ……鶏頭に咲きましたね、生花ですか」

「わら猫いわ、人の質問を、はぐらかしてしまつて」

瑞枝は笑めるやうな眼で睨んだ。

「はつは、はぐらかしたつもりはありませんが……さうです、あなた方の、見上げた生活態度ですもの いひますかね」

「明日ですわ 私なんか……お姉様はいらいと思ひますけど……」

「全くですね……お父様の御氣分は、如何です？」

「相変らずですわ」

「御用があつたら、御言つてください……」

亮一はいつて、如露を手におき、ふと、トマトの葉に眼いたが、

「健二、ミロナンの水を持つて来い」

家の方へ呼んだ。

瑞枝は枝ぶりのいゝのを選んで、自木蓮の枝を四五本切取ると、葉の間へ挿つて、花瓶に挿しはじめた。

「まあ、よく咲いたわね……」

華麗の土間から、君子が笑みかけた。

「お姉様のやうに、土に生かるかしら」

「だからお稽古になるのよ……」

君子は数へるやうにいつて、ふと淋漠を覚えた。甲斐々々しい襷がけで、眞白な腕を動かせてゐる君子の健氣な姿は、偽なき

「大貫さんが感心なさるのも、当り前だわ」

瑞枝は一人で思つたが、ふと

「こんないゝお姉様の、お嫁様になる人は何んなに幸せだらう？」

そんな事を考へて、われ知らず微笑ましくなつた時、君子が何かの拍子に顔を上げた。

「何をそんなに見てゐるの」

「お姉さまに、つくづく感心してゐるの」

「冗つぽ、なかしな瑞枝ちやん」

「大貫さんもさういつてたわ」

「まあ、いやな大貫さん……」

君子は嬉しらしく頬を染めた。

「あの方達も昨日までは、お父様のこと知らなかつたらしいのよ……」

「新聞社の方なんかゞ来たからで せう……何か頻りに喋舌してゐたわね」

「あの方なか！ やつたわ主。他人の業績に乗じて寫眞を撮ることは、一種の犯罪だ。アメリカでは、ある青年婦人が電柱に倶楽部の判決があつた、日本の社會は未だ人情といふことに案外ルーズだから問題にならないなぜだ、なんて、鋭く言ひ立てらすたつたわ。なか！ インチりよ。……ね、こんなでいゝから」

「いゝわ、よく生かつたわ……」

瑞枝が花瓶を持つて二階へ上つた時だ。前の細い道路を、自動車らしい重い軸の響きが近づいて、ぱつたり、門の四辺で停つた。

君子は別に氣にもめず、洗濯をつゞけてゐたが、ふと、隣の裏庭の方で、

「村瀬さんですか、村瀬さんはこのお隣です。そこの角を曲つていらつしやい」

亮一の聲が聞こえた。

「誰方かしら？」

君子は、そつと垂目から、聲のする方を覗いてみた。生垣の向ふの四ツ辻に、自動車の頭がでかく光つてゐる君子の健氣な姿は、偽なき

も乗ねさせて頂きたいと存じまして。

先便でも申上げましたとほり御出征の日を命日ときめ、私はすでに〜心に喪服をまとうてゐる未亡人でございます。今さら改めて夫戦死の後の身の振り方など、私に取りましては解決のついてゐる問題ではありませんか。御戦死の報を頂きましたら、即座に黒髪は断つて御霊前に供へる覚悟で居ります。昭吉を亡くなしましたことは、何とも申譯のない私の罪でございますが、夫亡き後、扶養する子供がないからと申して、將來の幸福を再婚に選べと仰言るのは憚りながら軍國の妻を以て任じてゐる私にたいし、あまりにお情なき無理解のお言葉かと存じます。このお言葉ばかりは、いかに御遺言とは申せ、私として承服申上げることは出來かねます。殊に、私はたゞ今妊娠の身でございます。

實は、先便でお知らせ申上げお悦び頂けかと思ひましたのですが、これまでの健康上の經驗から、篤とお醫者さんの診断を仰いだ上で、今日までお知らせすることを控へてゐましたところ、いよ〜確實だと申されて、寡家の父は死んだ昭吉が生き返つてでもきたやうな悦び方、私も嬉し涙に咽んでしまひましたあなたが目出度く御凱旋の日には、昭吉をなくしたお詫にこの子を胸に抱いてお迎へすることが出來ると、歡び合つてゐる矢先へこのお手紙ですもの、お恨み申さずにはゐられないではありませんか。でも、私が身でもつてとおわかりなら、こんな情ないこともお書きにはならなかつたでせうね。取消して頂戴。若しまたお手紙にあるやうに××荘どやらの攻略戦に、あなたが戦場の華と散つても――憚りながら私も銃後の妻の一人です。今、悦婦のこの子は、名譽の戦死を遂げた帝國軍人のわすれがたみとして、立派に私の腕で育て上げてお目にかけます。心爽りなく、この上ともの御奉公を神かけて念じ上げまゐらせます。

――（終）――

▽―笑　話―△

雀の巣

先生「皆さん 雀はどうゴザいますか？」

ところに巣を作りますか？太郎ちゃん答へて見なさい」

太郎「今話しますと、みんなにとられます」

この妻この夫

戸川貞雄

（六）

銃後の妻より

（第三信）

地後になるかも知れないといふお手紙、只今、頂きました。先便、まだ、御覧になつてゐない様子、この手紙も、果して御生前に届きますことやら。名譽の御戦死の後にはありましても、考へ、部隊長様と連名に致してゐます。且つは部隊長様からも、先ごろ、御懇篤な御慰問のお手紙を頂きましたことですから、略儀ながらそのお禮旨

◆美味しいお菓子
武藏屋菓子店
バウエル街三三二

カステラ
カフェー
晩市バウエル街三九二
住よし

石塔商
花崗岩、大理石の記念碑製作
オーシャン・ビュー墓地近く
晩市キングスウエー二〇七〇
電話カールトン一九五七〇
又はカールトン七四七一
Kingsway Monuments Works

◆加奈陀太平洋大共進會
……八月廿九日より九月五日迄……
五千弗餘の大懸賞付入場券賣出し

三枚 一弗

期間を通じ日夜各種催しあり
多種多様の出品展覽があります

「時代の進歩」大行列に始まり七日間産業、教育、藝術等々の一大展覽……近來にない豊富なプログラム！
入場券は日本人商店で御求め下さい

日本郵船 C.P.R.
アメリカンライン
日本行船切符
C. P. Express Money Order
販賣代理店
横濱正金銀行預金送金無手數料取扱

米精米 和洋食料雜貨
新西院市
電話 壹壹六壹一一八八五
住宅 九〇九X
西口商店

ペーント釣道具
其他金物類一切
大勉強
晩市メーン街二〇六
ビーシー金物店
電話 ダグラス五五三六

VANCOUVER PACIFIC PAPER CO. LTD.
紙の御用は當會社へ
包紙、紙袋、色紙、油紙、トイレットペーパー、其他ペーパー類一切
ククリ糸、カザリ糸、文房具種々卸賣
ワター街一六〇
晩香坡パシフイツク・ペーパー會社
日本人部代理
堀壽次郎
電話 本社ツリニチ一六二二一 自宅シー五三四一エキス

5 STAR THOROUGHBRED RYE
13 OZ. $1.00
25 OZ. $1.80
40 OZ. $2.75
UDL
此の風味と醇心地
他にないウマさ
スローブレッド
ライ
十三オンス入 特價 一弗
廿五オンス入 一弗八十仙
四十オンス入 二弗七十五仙
此の廣告は州政府又は酒類管理局から發表したのではありません

新着御案内
◎酒粕 三斤 二五
◎ウニ鹽辛 一瓶 三五
◎海苔佃煮 一瓶 二三
◎同 一瓶 一八
◎山椒昆布佃煮 一瓶 三〇
バウエル街三六九
良品廉價の
前川商店

スクールオプニング セール
廿七日（土曜）より九月三日（土曜）まで
ベビーシユー 一より四 特價 三十五仙
子供靴 五…七半 同 九十仙
ガールシユー 八…十半 同 一弗
同 十一…二半 同 一弗十五仙
ボーイシユー 八…十半 同 一弗七十五仙
同 十一…十三半 同 一弗九十五仙
同 一…五半 同 二弗 四十仙
▲其他何品に拘らず大賣出中は大勉強致します
加藤靴店
晩香坡市バウエル街三三八
電話シーモア八六一九

PLF
ソーダスト
薪炭
電話にて御注文下されば直ぐにお屆けいたします
パウエル製材
薪炭會社
バウエル街一三五五
電話ハイ四五六七四五六八

支那事變寫眞全組
上 一、五〇 北支那戰線 送り
戰爭之横顔 林 乃雄著 一、二五 送り一五
ドイツ愛國物語 池田宜政著 六五 送り一〇
イタリー愛國物語 久留島武彦著 六五 送り一〇
日米作法の常識 中河順藏著 二、八〇 送り二〇
S.UCHIDA
内田書籍店
電話シー四二三〇
347 Powell Street, Vancouver, B. C.

這へば起たせる力！
立てば歩ませるこの力！
小兒体質改造劑 慈童 五十仙 一弗 二弗
弱い子を強く!!
強い子をより健やかに!!
小兒科泰斗 中村博士の御批判を承はりました
慈童はその成分が芳香エレキシール、ヨードタンニン、グリセロ、燐酸鹽、カルシユーム、乳酸を主とせるもので之等は小兒發育、新陳代謝機能並に体質改良の上に於いて重大な作用を營むものであるから腺病質兒、神經質兒等は勿論、一般小兒に日常服用せしめてその効果の大いに見るべきものがある
晩市バウエル街三九〇 電話シー三八三一
近藤特許賣藥店
O KONDO 390 Powell St. Vancouver, B.C.

良い品をね安く
古屋商店
晩香坡 チマイナス ミッション
電話シーモア二九三三

サンマーホリデーから學校へ!!
初登校及進級の御用意を遊ばせ
三十六ページ エキササイズブック 何れも一打 三〇
九十六ページ エキササイズブック 一打 七〇
八十八ページ エキササイズブック 一打 七〇
二百三十六ページ 同 一冊 十二
ルースリーフノートブック 紙七十枚付 十五
万年筆 一本 二五
ペン及ペンシル コンビネーション 一本 四五
其他ペンシル、クレヨン、ペースト、ペイント、ルーラー、ペンシル入、スクールケース、スクールバッグ等學校用品を始め、シアツ バンツ スエーター 靴
等の御支度品に至るまで全部特價若しくは一割引で御願致します お早く御用意願ます
お買物は現金で御安く
一品でも一仙でも日本品を
晩香坡 チマイナス ミッション
電話シーモア二九三三

◉日本行汽船發着表
船名 精殿 エジア 九月三日
◉晩市（ヘオー・ミッション・スチーブ（ダンズミア街五七〇）
▲ビクトリア行 發 前十時三十分 後十二時 着 後五時五十五分 前七時
▲シアトル行 發 前十時三十五 後二時十五
▲ユニオンベー及コモックス行 後二時 火木土 バウエル河經由
▲村及プリンス・ルパート行 シービー（水）後八時
◉プリンスルパート行 シー・エス・アール 月（後九時）金（後九時）
◉シービー列車（東部行） 發 前十時 後七時 着 前十時半 十五分
▲卵 ◉晩香坡市場 即値 セロリ レタス コーン、一ダーズ 一わ 一五―二〇 一〇―一〇 キュリ 三個 一個 一〇―四〇 一〇―五
◉日本行郵便物本局締切日 書留は卅分、小包は二時間前 爲替受付後八時半 土後一時迄

聖剣千葉周作

（二二二）224（二二二）

坂東太郎作
久保田清春畫

此方は千葉周作、江戸からの使知を聞いて水戸から忘年ゲ池の道場へ辿つて參りました。先生が辿つたといふので親々弟子達が集まつて來て道場は一杯の賑やひでございます。そこへ次郎——む」いふ玄關に聲、弟子が出て見ると、例の田中次郎吉が顔を真赤にして立つてゐる。

○「それは能く忘れでになりました」

次「イさ能くも參らぬが、どうぞ年手合はせを願ひたい」

○「ハイ、世話をしましたやがて田中道場へ通す。榮次郎が榮「お父様、道場荒しの浪人が參つたさうですが、どうぞ私にお任せを願ひます。私が一打ちに打込んでしまひます。金森眞」

○「年生お願ひになりましたけるといふのは油斷がわるかつたが、天下の名人田中次郎吉先生が試合に參つたと聞次がつしやいい」

○「少々お待ち下さい」

中村銀吉といふ弟子が奥へ來て

○「先生ッ、參りました參りました」

周「何だ、騒々しい唯參つたでは分らぬ、何が參つたのだ」

○「道場荒しの田中次郎吉が參りました。先生と試合をするぞ申して居ります、如何いたしませうか。即りませうか」

周「何も断ることはない、試合に參つたと申すなら立合をいたさう、道場へ通しなさい」

○「宜しうございますか、大先生」

○「先生お願ひになりましてに打込んでしまひます。金森眞田でも仕方でも、そん年者に負けるといふのは油斷がわるかつたが、天下の名人田中次郎吉先生でございます。私が立合つて一打に……」

周「コレ〜榮次郎、大樣な田舎者だと申すな、若輩のくせに、田舎者も仕方も何も油斷で敗れを取つたのではわるまい。先方が強いのでやらう、その者がいかに強いとて、敗れを取るやうなことがあつては、恥辱の上の恥辱、いーやそのやうならぬ。控て居れ」

逸る榮次郎を止めて控いて千葉周作は無言で道場へ來て見る程、立派な剣作を傷つてゐる。初對面の挨拶が終つて、周「先達中より度々の御入來失禮をいたした」

次「イヤお留守中には御門人達に勝つてゐるだけに、ナーニ師匠の剣作だとて、大した事はあるまいと侮つてゐるため、剣作の目から見ると劣を取るに足らない。

「こ奴、この剣作を侮つてゐる、いよ〜以て捨置けぬ奴、その儀ならば目に物見せて呉れようとずつと田中の顔を見詰て居りましたが、

「エイッ」これがビリ〜ッと四邊に鋭く響く、田中次郎吉息はずタヂ〜とする所を、「ヤッ」と叫んで打込んで來た周作の竹刀は構ひもない面を打つ樣に田中を眞向から強たかに打つたから、次郎吉はたまらずドウと道場の中央（後さまに倒れたけれども中々强情な男だから

「參つた」とはいはない、無言のまゝなはも打合はうと起き上らうとする。

「エイッ」また一打、今度は周作も取立ちまされに打込んだ鋭い竹刀である、田中の腦上へビシーリ……「ウム」といふと次郎吉その所へ氣絶をしてしまひました。

▲……都々逸……▼

爪を噛む、嫉なを懸にて、ぢんやりけふも、あてのない人待つてゐる

Chantecler CIGARETTE PAPERS

巻煙草にはシャンテクラーシガレット紙を
紙質が軟く薄く
糊が充分に付いてゐる

自動式に紙が出て來る
視式ブックが僅か五仙

代理店　大陸日報印刷部
電話ダグラス五五三三

最新型　タイプライター
學生用並にポイス用
小型　四十五弗
ストリムライン　六十弗
ナンバーワン　七十五弗
ノイズレス　八十弗
極く僅かの月賦拂でも差支ありません
レミングトン會社

◇ソーダスト取次
▲ドライファー一等品コード　六弗五十仙
▲ファースラブ一コード四弗五十仙

薪
□ミール薪
△インサイドファー一コード　五弗五十仙
△エッチング同　三弗五十仙
ローヤルフューエル
電話ハイランド一八〇七　森
Royal Fuel (Wood & Coal)

B.C. WOOD & COAL CO.
割薪値段
インサイド　ファー　一コード　七、〇〇
同　同　半　三、七〇
同二等品　一コード　六、二〇
同　半　三、二〇
同三等品　一コード　五、〇〇
同　半　二、七五〇
ヒーター　ブロック　一コード　五、五〇
同　半　三、〇〇
ファースラブ　一コード　四、五〇
同　半　二、五〇
御電話下されば早速お屆けします
ウッドランド街埠頭
ビーシー薪炭

晩香坡市パウエル街三八〇
昭和倶樂部
事務所用電話ドグラス五五二二
電話シーモア四五三三

◇ビルダー　サプライ
各種ランバー、シングル、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切最も安價にて販賣いたします
尚住宅、鷄小屋、バーン等の請負を專門として居ります
電話或は郵便にて御通知下されば遠近に拘らず早速セールスマン出張の上見積値段運搬其他萬般御相談に應じます
ファンリッチ製材會社
瀧本與次郎
ピーシー州ボート（ネーツランク・ダウンラインロード角）
電話（ヤード）ミル　（ネー）七九
自宅　同　一三五
同　六八

日本行汽船切符直接販賣
晩市パウエル街三一六（ライオンルーム二號室）
移民官手續再渡航證明
妻子及使用人呼寄手續
諸願屆代書一般代理業
竹内事務所
竹内藤吉
電話シー一二二四　自宅ハイ二九一三エル

病弱より健康への一筋道
『眞の健康』は臍下丹田の力を養ふこと
◎指導考もいらない、短時間でしかも老人小供にも手輕に行はれ奏効確實の方法こそは新時代の寵兒
「自力健康器」の御使用であります
健康器から發する美妙な音響に心耳を澄ましながら簡器な呼吸法を行ふだけで日一日と健康への道を進みます
中山膏、ダモラバール脱毛劑、スマイル、ポンホリン、シツカロール、トモサン錠、アベチン錠等多量入荷
一弗廿五仙以上
イーストマン・コダツク
フイルム現像燒付迅速美麗
現像燒付
誠心誠意
晩香坡市パウエル街二四九　電話シーモア四八八四
誠心堂
249 Powell Street Vancouver, B.C.

先祖傳來
名灸骨接筋違
男女諸病一切及び子供のかんの灸並慢性胃腸病、婦人病に
晩市プリンセス街二四一
電話ハイランド三〇四二エル
鎌倉

晩香坡市ゴーア街三二九
加奈陀日本人會
電話ツリニチー七二
Canadian Japanese Ass'n
329 Gore Ave, Vancouver

和洋雜貨食料品
東洋商業會社
P.O. Box 46, Port Essington, B.C.
電話大橋松次郎

和洋雜貨食料品
漁船用具一切
ポートエシングトン郵函三一
岸本商店
P.O. Box 31, Port Essington, B.C.

バウエル街參參參
前川魚肉店
電話ドグ三八七
同　三八六
住宅ドグ四七八七エル
こまぼか製造販賣

ブリキ細工
プラマー仕事
バウエル街四五七
西畑ブリキ工場
電話ハイ四二六

惣菜料理
うどん、そば、天ぷら、丼物
出前一切
バウエル街二五八
現代的料亭
つばめ
電話ツリニチー五六一

朝早くからお仕度が出來て居ります
バウエル街三五〇
簡易食堂
一富美
電話シー一二二五

鍋燒うどん、そば、丼物一切出前いたします
バウエル街二五〇
天狗
電話シー三五三八

ちり鍋、すき燒
ゴーア街一二八
玉川
電話ダグ四七九三エル

御料理
日の丸
バウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

會席御料理
バウエル街參參〇
金太郎
電話シー二〇〇三

御料理すし其他
バウエル街三六二
林家
電話ツリニチー三七〇〇

晩市ゴーア一三〇
樂々
電話ダグ二七〇六

御會食に
御招待に
ぜひどうぞ
富士

大工一道具切具
晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ドグラス二三七

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘ず配達します
バウエル街三四二
パウエルベーカリー
布田惣一
電話ダグラス五五三一
住宅西第七〇街一一九八
自宅電マーボール六〇七エル

シンガーミシン
日本人部代理人
堀七藏
キャンビー街二三九九
電話フエヤ四〇三一エル

和洋御菓子
晩市バウエル街二三五
横山菓子店
電話シー六九四一

◆魚類
◆肉類
◆青物類
◆カマボコ
◆和洋食料品
バウエル街二六二
茶木魚店
電話ダグラス五五四二

荷物運搬は凡て運賃割切勉強で好評な
晩市バウエル街四六三
運送社へ
電話ハイ一五六六

和洋雜貨食料品
晩香坡市バウエル街五六六
西村商店
電話ハイランド一三七五

男女子供靴一切
晩市バウエル街三八八
電話シーモア八六一九
加藤靴店
住宅東カドバ街七九一　電話ハイランド九二七六

男女着類一切
晩香坡市バウエル街三七八（三七四）
澁谷商店
電話ダグラス5525

◎新荷到着
昆布付數ノ子新茶
御馳走の御用はゼヒ當店で
バウエル街三五三　電話ツリニチー五七八四
百九七九アル　自宅電話ハイ
スター魚肉店

電話シーモア一〇八九

大正堂
バウエル街三〇一
電話ダグラス五五
ミカドツランスフアー　電話ステプストン二

断然高尚で上品
學生向萬年筆
自九月一日至九月五日
此廣告と引換へに特價呈上
萬年筆　六十九仙
ペンシル　三十九仙

愛兒は草ばの蔭から激勵
奇しき日假宿の英靈が凱旋
國際波止場に描く『軍國の母』の祕話

【神戸通信】自宅に泊つた出征勇士の時れの音盞を健氣にも愛兒の死を秘めて見送つた神戸の一婦人が、一年後の同じ突堤に同じ勇士の遺骨を出迎へ涙ぐましく哀しい軍國の母の銃後奉公が奇しくも愛兒の命日の八月十二日はじめて明かにされ感激益々の話題になつた—

【神戸通信】昨年八月十日西大條郡(旧姓)寺口吉一郎(二)が同郡北條村小谷出身(二)で、昨年八月十日西大條郡の出内熊次郎(二)寺口吉一郎(二)が同郡北條村小谷出身(二)が三勇士が同郡に帰りの宿を取り、歓呼の聲に送られて勇躍出發したが、その際三人からこれを返つてゐた蓮代さんの次男義春(當時六つ)が手を振り出し「兵隊さんバンザイ」と叫んだ瞬間、通路に躓き絶命した、夫は航海中で三人の愛兒と留守居してゐた蓮代さんはけなげにも堪く愛兒の死を秘めて勇士達の船出を突堤まで見送つた、その後帰りの宿りが紙と成つて蓮代さんの心を慰めた間品が應度か前線の五勇士に贈られ美しい交通が結ばれるうち早くも一年の歳月は流れて出内寺口岡勇士はともに徐州攻略前哨戦に戦國の華と散り、その遺骨が去る九日思ひ出の神戸港へ凱の凱旋化し、一年前に突堤で涙を隠して日の丸を振つた蓮代さんは今は無言の遺骨の前に國勇士のためまた亡き愛兒のため心行くばかり涙を絞つたので あつた、十二日蓮代さん を訪れるとあの時の私は長隊さんの士氣を沮喪させては思ふ心で一杯でした、佛前を暗く閉ぢ乗式も十四日に延ばして全く知らさずに出發して貰ました」とのである、その朋さんに晴れの

街の人氣者出陣
子供ばかりで餞別を集め…
『手柄立て、』と送別の辭

【東京通信】芝區白金附近の子供達の人氣者朕が來た、これを聞いて朋さんの店の常連白金小學校六年生中谷滿君(一三)外二十一名の少年、少女達は「朋さんにせんべつを贈らうぢやないか」といふことになつた

それもお父さんやお母さんから戴いたお金せは意義が薄いからとみんなで容鍋や古瓶を持寄ることになつた、それを層屋さんに賣つたら六圓十五錢になつた、六圓分の容鍋は相當のもので附近の空地に集めると小さな山になつた、これを拾ひ屋に盗まれてはと交代で二人づゝ番兵に立つといふ驅さだ

さて何を買つてあげようかと考へたが適當な物が思ひつかず現金を贈ることゝなり、八月十二日午後一同打揃つてこれをゞトオチャンチ〟へ持つて行つた、さすがの工兵上等兵朋田太郎さんも子供の純情に涙をボロ〜こぼして喜んだ「をぢさんが戰爭に行つても、僕達はをばさんからセミ竿を買ふからね」傍でおかみさんのちよさん(三十)も貰ひ泣きしてゐる、子供達は可愛らしい四十二本の手を擧げ「をぢさん萬歳」を唱へて歸つた、そして十三日午前六時朋上等兵は子供達の歡呼に送られて征途についた、代表中谷君は一同の前に進み

僕達は長い間親しんでゐた良いをぢさんと別れるのは名殘惜しくてしようがありません しかし銃後のことは御心配なく、立派に

手柄

を立てゝ凱旋して下さい

と送別の辭を朗讀した、子供達の眼にも朋さんの眼にも感激の涙が光つた

映畫『貿易風』
日本娘主役
支那女優を蹴つて
一日七十弗

【羅府通信】ユーナイド・アーチスト映畫會社で『貿易風』を製作するが、其の場面の日本チー・ハウスに働く日本人娘全部が上山浦路夫人の斡旋に依りそれ〜就働する事に確定してゐたが、主役の支那人女優スーヤングが「日本人と共にスクリーンに現はれるのを快しとしない」との理由で駄々をこね出したので骨折た浦路夫人の努力も水の泡とならんとしてゐたが會社側では更にスーヤングに替はるべき女優を物色の處、眞柄愛子嬢に白羽の矢が立ち、試驗の結果英語トーキーにも合格したので、會社との契約が成立、七十五弗デーで出演する事に決定し、八月二十九日より撮影を初めた

新西院佛教日校
教師會

新西院佛教日曜學校では來る四日(日)日曜學校後教師會を開催する、種々協議事項がある故教師及び青年會役員は揃つて出席されたしと

◉手紙・保管—齋藤俊子さん宛、差出人青森縣白川氏よりの書狀本社留置

【京城通信】ソ聯が誇る戰車隊と歩兵が協力した物凄い逆襲を退け五二高地(張鼓峰南方)の要線を死守し滿ソ南部國境の朝露と消ゆた大城戸部隊の大杉國雄中尉の壯烈鬼神をも哭かしめる最期は、五二高地の花と謳はれてゐるが、八月十七日その最期の模樣が明かとなつた—

八月七日朝であるソ聯の戰車はこの日めづらしくも歩兵と緊密な協力の下に最後の總攻撃に轉じ五二高地のわが第一線陣地の突破を企てやつとばかりに押寄せて來た、敵戰車群の來襲を待ち構へてゐたのが大杉中尉とその部下たちであるゞそれお土産がやつて來たぞゞとばかり中尉の命令一下二手に分かれてこれを包圍しお得意の戰車戰法で猛烈な反撃に出た、この奇襲猛襲を食つたソ聯戰車は早くも浮き足立ち折角の歩兵との協力はいつの間にか破れてゐたがわが方が國境確保の目的から深追ひしないことを知るや執拗にもふたたび陣形を立てなほしまたもや猛然

逆襲

銃砲弾の盲撃だ、それこそ文字通り亂射亂撃の逆襲であつて要線を挟んでの戰闘は大亂戰となつた、この亂戰の中に隊長大杉國雄中尉(兵庫縣出身)は味方の眞先に立ち軍刀を揮つて敢然と指揮してゐた、この時である敵の戰車砲は赫然たる響きと共に味方の先頭で炸裂無念や中尉に命中した、土煙のはれるを待つてみると中尉の右腕は皮一重を殘してぶらぶらになり左手の一部も打ちひしがれてゐる、しかし剛毅の隊長はこの重傷に屈せず大聲に叱咤して部下を激勵つひに群がるソ聯戰車を追拂つたのである、かくして五二高地のわが要線は

確保

されたのだ、戰ひをはるや全身血達磨となつた隊長は生殘つた部下を集め

「前たちは一致團結實によく闘つてくれた、お陰で陣地を確保することが出來た、わしは嬉しい、今後ともこの陣地を飽くまで死守してくれ」と切々部下を思ふ温情を籠めて激勵、さらに○○○部隊長に傳令を出してこの戰闘の詳報を傳へた後つひに後送され野戰病院に收容された、しかし傷は非常な重傷、軍醫の手厚い手當も空しく遂に五二高地の花と散つたのである、重傷の身にも屈せず最後まで指揮官としての重任を忘れずしかもこれを完全に果して斃れた同中尉の豪膽沈着な行動はこれこそ武人の鑑として全軍將兵に深い〜感動を與へてゐる

狂ふ血の順番恐れ
人妻晴衣で自殺
健氣遺書に銃後の覺悟

【東京通信】八月十六日午前(二時半)ごろ本所區江東橋機械修繕業前木正行氏妻千代(三)さんは自宅階下六疊間で死出の化粧に新調の紹の晴衣を着けて流行藥自殺をした、千代さんは美人で賢妻と評判され十歳を頭に四人の子供があり家庭は使用人十人もゐる程繁盛で夫婦仲も極めて良かつたが、千代さんは母が世歳で精神病で變死したのを苦にしてこれは自分の番ではないかと宿命に對する恐怖から死を決したものらしい、警察に宛た外主人、妹、伯母にそれ〜遺書があつたが、主人に對しては「非常時にお手數をかけて濟みません母より一年永く生きたのは全く貴方の情愛の賜です若しも召集があつたら管の意なき意見の交換を遂げる管で管のひらきに奉公袋と千人針の腹卷が一緒に入れてあります、今度新調した着物は私の晴衣に持つて行かせて下さい子供を皆つれて行かうと思ひましたが生あるもの名殺すに忍びません」とあつた

バーネット米陸軍大將
日本へも寄る

【ワシントン卅一日】米國陸軍省關係局長チャールス・バーネット大將は卅一日ワシントンを出發陸軍運送船リバブリック號で比島訪問の途に上つた、バーネット大將は約四箇月の豫定で比島の國防、經濟、農業狀態等を視察した後ケソン大統領以下比島最高當局者と比島の内外重要問題、特に日比關係に就き腹蔵なき意見の交換を遂げる筈で比島往訪の途次日本にも立寄り日本政府當局とも會見する豫定である

Japan Explains Border Dispute

TOKIO.—With a view of securing harmonious relations between Japan and the Soviet Union, particularly with regard to the border question between Manchoukuo and the Soviet Union, the Japanese government has for several years past been exerting their utmost efforts to urge upon the Soviet Government the necessity for establishing appropriate commissions for purposes of the redemarcation of the Manchoukuo-Soviet boundary and the settlement of disputes arising from the uncertain status of the boundary line.

The negotiations which the Japanese government conducted with the Soviet government have not as yet produced any concrete results owing to the unfavorable attitude shown by the latter, notwithstanding the conciliatory attitude of the Japanese government. However, the importance of definitely redemarcating the Manchoukuo-Soviet boundary, especially in the district extending from Lake Khanka (Kogaiko) to the Tumen (Tomon) River in the east, is keenly felt by the Japanese government as that particular district has been fraught with the danger of recurrences of border incidents.

As a matter of fact, there actually have been frequent incidents of more or less serious nature in that district in recent years, including the latest Changkufeng affair. A brief resume of the circumstances surrounding negotiations concerning the establishment of border commissions follow.

In December, 1932, the Japanese government suggested to the Soviet government the desirability of establishing a commission composed of Japanese, Manchoukuo and Soviet representatives to settle boundary disputes, and in the months of May and June of the following year conversations on the matter were held at Tokio between the Foreign Office and the Soviet ambassador. But due to the opening of negotiations for the transfer of the North Manchuria Railway (formerly C.E.R.) conversations naturally were dropped.

In the spring of 1935 the conversations on the question of establishing such a commission was resumed, in view of the numerous recurrences of border incidents. However, investigations of the basic causes of such disputes convinced the Japanese government of the necessity for redemarcating boundary lines, since the disputes were found to be largely due to the uncertainty of boundary lines or the divergence of Manchoukuo and Soviet claims as to their frontier lines.

The Japanese government, therefore, suggested to the Soviet government that it was an urgent necessity to affect redemarcation of boundaries, and urged upon the Soviet government the importance of defining exactly the frontier lines from Lake Khanka to the bank of the Tumen River, a distance of 630 kilometers, where border incidents were most likely to happen. To this Japanese proposal the Soviet government's response was unfavorable. They insisted that the frontier lines were clearly established by the Sino-Russian Treaty and maps attached thereto.

Accordingly they evaded entering into negotiations for the redemarcation of boundaries, expressing only their desire for establishing a commission for the settlement of frontier disputes. The Japanese government, maintaining that the boundary lines were not so clearly established there as the Soviet claimed and that the redemarcation was of prime importance for the prevention of unfortunate incidents on the border, proposed that there should be established two commissions, one for redemarcation of boundaries and the other for settlement of disputes.

In April of the same year (1935) the Soviet government agreed to this Japanese proposal with certain disiderata. On July 16th, 1935, the Japanese government presented a draft of plans for an agreement between Manchoukuo and the Soviet Union on the redemarcation of their boundaries and for an agreement between Japan, Manchoukuo and the Soviet Union on a commission for settlement of boundary disputes. On the 16th of October of the same year, the Soviet government made a counter-proposal. The Japanese and Soviet proposals greatly resembled each other in general outlines.

However, the Soviet government insisted that until boundary redemarcation be effected, the existing boundary line, that line claimed by the Soviet Union, be respected by Japan and Manchoukuo. The Manchoukuo government, however, maintained that the zone over which Manchoukuo and the Soviet Union differed in their claims not be entered by either side until redemarcation was effected.

Another point insisted upon by the Soviet government pertained to the composition of the commission for settlement of border disputes. They insisted that Japan and Manchoukuo be considered one unit and the Soviet Union as another unit. But Japan and Manchoukuo proposed that they be regarded as two separate units and that the commission be composed of three units, Japan Manchoukuo and the Soviet Union. The negotiations thus deadlocked, whereupon the Japanese and Manchoukuo governments expressed their willingness to agree to the composition of the commission with Japan and Manchoukuo represented in a number equal to that of the Soviet Union and persuaded the Soviet government to reconsider the matter. But the Soviet government held fast to their original proposal as a result of which the negotiations on the question establishing two border commissions have come to an impasse and have been suspended since the spring of 1937.—Statement issued by official spokesman of Japanese government.

Piano Offerings By Mrs. Higashi Sat.

Mrs. Nobu Higashi, L.R.S.M., will offer piano solos over CKCD Saturday from 9 to 9.15 p.m. in the regular weekly Goodwill program. Her selections will be announced in Saturday's issue.

Engagement Announced

The engagement is announced of Nobuko, third daughter of Mr. and Mrs. Yazaemon Tamura of Haney, to Mr. Ginji Sannomiya, eldest son of the late Mr. Koichi Sannomiya and Mrs. Sannomiya. The wedding will take place on Saturday, September 17.

Miike's Chance Will Come

Mooney Miike was given the opportunity to play several games with the Asahis this season because he displayed exceptional ability in the Japanese League. As Asahis have many good outfielders, Miike was unable to stay on permanently but the experience will prove invaluable in the future.

While playing shortstop for the Giants, Miike is believed to have set the highest batting average in the Japanese League. He hit .545.

Net Meet Starts Saturday

Entries for the B. C. Japanese Open Tennis Tournament will close today it was announced by Secretary T. Takenaka. Men's singles, doubles and ladies' singles are on the program which gets under way on Saturday, September 3.

Reports from Seattle indicate efforts are being made there to send several of their stars here for the big meet in reply to an invitation from the local club.

Success Marks Victoria Concert

By Our Victoria Correspondent

VICTORIA, Aug. 30.—With a capacity crowd in attendance, a concert in aid of the Chapter's fund was staged by the members of the Victoria Chapter of the J.C.C.L. last Saturday evening in the Gogakko Hall.

A well arranged three-hour programme, conducted in Japanese and English, included a round of comedy, music and the odd bit of tragedy, all of which were carried out by the amateur theatricals in a style that spoke of their efforts in making the event a marked success. Plenty of laughs and surprises were provided throughout the evening for the keenly interested audience and the programme was as follows:

The opening by the chairman of the evening, F. Ohtake; vocal duet, Hatsue and Toshio Uyeda; piano solo, Masako Takahashi; a Japanese play, "Seikatsu-no-uraomote" with a cast of four; the popular "Snow White and the Seven Dwarfs" with a cast of eleven; French minuet by Michiko Okamoto, Marion Yoneda, Aiko and Fumiko Kondo; a Japanese comedy, "Fufu genka," a cast of two; Major Bones and his "original" amateurs; piano solo, George Kuwata; a Japanese domestic comedy, "Otto seibatsu," a cast of thirteen; closing address and "God Save the King."

The Chapter wishes to express their sincere appreciation to those who have so generously rendered their assistance in connection with the production of the Japanese plays and to all those who patronized the affair.

Calgary Youths Form First Group; Leo Tanouye Is Selected President

CALGARY, Alta.—Fifteen Japanese young people of this city gathered at the home of Mr. K. Inamasu to form the first youth club in Calgary on Thursday, August 25. On the suggestion of Mr. S. Kuwahara, president of the Showa Kai, the name of the club will be Calgary Japanese Youth Association.

Leo Tanouye will serve as the first president of the group for the following term. Miss Mary Inamasu was chosen secretary-treasurer and Hiroshi Kuwahara and Miss Yeiko Tamagi will be the councillors.

Various phases of work, sport, and aims of the club were discussed. It was decided, however, that members of the Showa Kai be invited to some of the meeting and speak to the Youth Association on current affairs, namely the Sino-Japanese matter.

The Executive will draw up a constitution which will be presented to members at the next meeting for discussion and comment.

It was decided that a theme song be composed by one of our members, Ken Tamagi, and that all meetings begin with this song and close with the Kimi Ga Yo.

A corn roast was to have been held yesterday as the beginning of the group's social season.

The next meeting will be held at the home of Mr. S. Kuwahara on September 22.

Giants Tackle Asahis

Because the Vancouver Asahis will be idle until Labor Day when they tangle with Fife Nippons, the champions of the Japanese Baseball League, the Asahi Giants, will give the senior team a workout at Powell ground tomorrow from 5.45 p.m.

Giants expect to aid the champions of the city minor leagues in retaining the game that carried them to the top in the Burrard and Commercial League playoffs in the international Japanese clashes this week-end.

JACL Seeks Practical Ideas

LOS ANGELES (CNP)—At no time in the history of the Japanese-American Citizens' League movement has there been a greater desire on the part of the nisei citizenry to strengthen the welfare of some 80,000 of their group centering on the Pacific Coast.

With the delegation from the States of Washington and Oregon en route for Los Angeles, all roads today will see the flow of the respective nisei leaders of 40 odd localities converging toward the City Hall of Los Angeles, where the opening ceremony will herald the most ambitious program of discussion on varied aspects of nisei welfare.

Leaders of the Northwest, Northern California and Southern California districts are unanimous in the opinion that the nisei is today faced with crucial task of asserting a definite policy in view of conflicting ideologies to which the American-born Japanese is caught in the range of their crossfires.

"We have the Japanese jingoes and again the American jingoes to cope with," stated an elder nisei. "We hope to avoid both and at the same time carry out an intelligent program of Americanism that is compatible with the best interests of good American citizenship which in the last analysis is contributing toward furthering the understanding so sadly lacking between the Americans and the Japanese."

The convention will deal with the practical phase of executing the policy.

LOS ANGELES—Ten talented young Japanese dancers of this city will soon be seen in a Walter Wanger production, "Trade Wind," which is to be fielmed at the United Artists studios. The girls will appear in a Japanese dance sequence.

Coats & Suits $6.95 up
Silk Dresses $1.95 up
also, blouses and skirts at Reasonable Prices.

Modiste Fashion Shop
450 Granville Street
Seymour 4941

The Tairiku Nippo English section is published three times a week, on Tuesday, Thursday and Saturday. News must be in our hands on the day previous to publication and not later than 2 o'clock.

DOMINION LIFE ASSURANCE COMPANY

Recommends You the Special Protection Investment Bonds

Edward T. Ouchi
1881 MARINE BLDG.
Scy. 9370 High. 8775-X

HAJIME SUZUKI
OPTOMETRIST
377 POWELL ST. PHONES: SEY. 1185 SEY. 7935

紙はり
婚礼用髪飾及べール、髪飾等は無料で貸します
日本着物 御貸します
花嫁様の御支度
オイルパーマネントウエーブ美容術
御結婚式 ベール及髪飾 無料貸します 長髪、短髪パーマネントウエーヴ
儀式用振袖あり
クラウン生命保險會社